

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	八王子市立中野保育園
担当	3歳児クラス

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（空の観察）

<テーマの設定理由>

身近な自然の中で、子どもたちが空を見て「おもしろいかたち」とつぶやいたので、つぶやきを記録し、いろいろな空の様子を観察した。

### 2. 活動スケジュール

- ① 7月（青空の観察）
- ② 8月（曇り空や雨の日の観察）
- ③ 9月（雲の変化）

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・「くもとそらのえほん」を購入し、色々な形の雲や、雨・虹などの自然現象を知る。
- ・色々な雲や空の写真をクラスに張り出し、身近に感じられるようにした。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・園庭遊び時に空を見上げ、子ども達の発見を観察した。
- ・朝の会で今日の天気を話題にする。
- ・室内の階段を上がる時に、窓から見える空に興味を持つ子が増えたので観察した。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

青空の中に色々な形の雲を発見する。「トリケラトプス」「ミッキー」「花火」「虹色」「サメ」等、自分が知っている物や生き物、事象に見立て発見を楽しむ。曇りの日は「お日様がいなくなった」「ちょっと暗くない?」「電気が消えた」「なんだか寒い」等、目で見たり肌で感じたままを話していた。雨の日は室内から空を見上げ、「小人が雨を降らしている。」「雨は雲と雲がくっついて降る。」「雨が止むと虹が見えるんだ。」「雷様が降らしている」等、想像や実際に体験したことを話していた。朝の会では自分の感覚で自由な天気を話していた。「あめとはれ」「ちょっとくもだけどはれ」「たくさんあめ」等。階段を上り下りする時に、毎日空を見上げるようになった。黒い雲を見つけると、「もうすぐ雨になるよ」「風が冷たいよ」と保育者に教えてくれるようになった。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の発見はいつも新鮮で、話を聞いてみると現実のものと空想のものが混じっているが、目を輝かせて大人に伝える姿は愛おしいものがあった。発想の自由さを大切に、私たち大人の常識で返すのではなく、素直な気持ちをこちらも楽しんで広げていきたいと思った。何気なく観察してきた天気や気象は身近な発見の第一歩であり、小さな子どもならではの世界観が垣間見れて楽しかった。